

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■道路維持のため修繕を行います ……………1億6,244万円

道路や橋を安全に長く使っていけるよう、予防的な修繕を効果的に行なったり、軽微な損傷箇所を緊急的に修繕したりするための予算を計上しています。



▲修繕工事を予定している市道原田幹線

■斎場に太陽光発電設備を導入します ……………7,000万円

橋本市斎場に、既存の自家発電機に加えて、施設屋根への太陽光パネルと蓄電池を設置することで、災害時の安定的な斎場運営と、通常時の電気代削減、二酸化炭素排出の抑制を図ります。



■橋本駅前整備の事業化を検討します ……………700万円

橋本駅前地区は、空き家や空き地の点在、入り組んだ細い道路などのため、有効な土地利用が行われていない状況であることから、橋本駅前整備の事業化を検討するにあたり、基礎調査を実施します。



■化学消防車・救急車・ドローンの配備 ……………1億4,841万9千円

橋本北消防署に化学消防自動車を配備し、危険物災害への対応力を強化します。

また、近年、多様化、激甚化する災害に対応し、迅速かつ効率的で安全な救護活動を遂行するためにドローンを配備します。



▲化学消防車（参考）



ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

■高野口中学校基本構想・基本計画の策定 ……………2,000万円

最適な学習環境の構築を図るため、学校の移転候補地や概算事業費、事業手法などを示す基本構想、基本計画を策定します。



■学校給食費を無償化します ……………2億2,680万6千円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市立小・中学校の児童・生徒の学校給食費を無償化します。県の公立学校給食費無償化補助金を活用することで、食材価格が高騰するなか、給食の質や量を維持したうえで、無償化を実施します。



■サードブック（ブックスタート事業） ……………124万8千円

本を通して親子が触れ合うきっかけづくりを目的に、健康診断時に、絵本の配布と読み聞かせを実施しています。4・5カ月健診や1歳8カ月健診に加えて、3歳6カ月健診時にサードブックを実施します。



■GIGAスクール構想に伴う端末更新 ……………2億8,708万9千円

児童生徒に1人1台のICT端末を配備する国のGIGAスクール構想に伴い、市立小中学校の児童生徒へ配備している端末を更新します。一人ひとりの興味や関心に応じた学びや、互いに協力しながら学ぶ協働的な学びを一層推進します。



■小中学校の防犯対策 ……………679万9千円

市立小中学校への不審者侵入対策として、校門への防犯カメラの整備や、門扉、フェンスの改修を令和7年度～8年度の2カ年で行うことで、学校の安全を高めます。



■带状疱疹ワクチンの予防接種 ……………2,548万8千円

本年度から定期接種に移行する带状疱疹ワクチン接種について、自己負担を抑えて実施します。詳しくは、17ページを確認してください。



令和7年度に取り組む主な事業

平成30年度から10年間のまちづくりの指針を定めた「第2次橋本市長期総合計画」では、まちの将来像「人輝き あたたかさ湧きでる みんなで創造する元気なまち橋本」を実現するために、3つの基本目標と行政推進の基本姿勢を示しています。

基本目標の達成に向けた、本年度の主な取り組みを紹介します。

行政推進の基本姿勢

■デジタル地域通貨を活用した施策推進 ……………1,078万8千円

市の施策や市民協働を推進するため、対象となる市の事業やイベントなどに参加した場合、デジタル地域通貨Hashi-Moのポイントを付与します。65歳以上の運転免許証の自主返納や生活支援・移動支援活動の登録・実施などを新たに対象とします。



■新庁舎整備の基本構想・基本計画の策定 ……………2,237万7千円

本庁舎などの老朽化に伴い、市民の利便性やサービスの向上、事務機能の効率化など必要な庁舎機能を検討し、目指すべき姿や規模、概算事業費、事業手法などを示す基本構想、基本計画を令和7年度～8年度の2カ年で策定します。



ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■高野口パイルのブランディング事業 ……………810万円

地場産品である「高野口パイル織物」の認知度向上および販路開拓を促進することによって、地域活性化を図ることを目的に、ノウハウを有する民間企業と連携し、消費者イメージを高め差別化を図るブランディングを行います。



■橋本市制20周年記念事業 ……………1,240万5千円

令和8年3月1日に市制施行20周年を迎えるにあたり、市民や市にかかわる人みんなで祝い、市の歴史・魅力を再認識するとともに、新たな未来へ向かって飛躍、発展する契機となるよう、20周年記念事業を実施します。詳しくは、10ページをご覧ください。



■農業振興条例関連補助金 ……………1億2,220万円

農業経営の持続的な発展を支援するため、農業振興条例を活用して補助金を交付し、農業者を支援します。また、農地の進入路の整備や農作業用道路の修繕に対する補助事業を新たに追加します。さらに、既存のクビアカツヤカミキリ対策事業を拡充し、橋本ふるさと便事業では意欲的に取り組む農家をさらに支援するために件数の制限を撤廃します。



■Instagramによる戦略的な情報発信 ……………844万円

市内外の子育て世帯や本市出身の若者などをターゲットにして、本市の子育て環境や生活環境、魅力をInstagramにより発信することで、本市への関心を高め、市民には住み続けたい、市外の人には住みたいと思ってもらえるように、認知拡大を目指します。

